

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2020No.173】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ベートーヴェン

曲名：ピアノ協奏曲第 3 番ハ短調

演奏：ダニエル・バレンボイム（ピアノ）／キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/52519>

2020年1月12日のベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



上記の他に下記が演奏されました。

シューベルト：即興曲変イ長調

ダニエル・バレンボイム（ピアノ）

スーク：交響曲第 2 番ハ短調《アスラエル》

[PrimeSeat を楽しむ\(27\)](#)でも報告した演奏で、PrimeSeat に遅れて公開されました。

プログラムにはなかった、アンコール曲のシューベルトの 4 つの即興曲第 2 曲を挟んでの上記 2 曲の演奏です。

PrimeSeat を楽しむ(27)で述べましたように、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第 3 番は、ベートーヴェンとしては、まとまった美しい曲です。スークの交響曲第 2 番ハ短調《アスラエル》は、初めて聴くものですが、豪快、壮大なところから、抒情性も豊かな変化に富んだ曲です。

バレンボイムのピアノは円熟味を増し、鋭いタッチではなく、むしろまろやかに曲を構成していきます。

スークの交響曲第 2 番は、検索してみたところ、ベルリンフィルでスークの作品が演奏されたのは初めてのようです。ドボルザークの弟子のようで、壮大な曲想はドボ

ルザークの新世界を思い出させます。キリレンコが取り上げたのも意欲の表れとみてとれ、なかなかの熱演で、聴衆のスタンディングオベーションが長く続きました。**PrimeSeat**を楽しむ(27)では、**PrimeSeat**では、11.MHzDSDの配信で聴きましたが、BPODCHそのままの配信では、肌理の細かさは劣りますが、生々しさがあり、11.MHzDSDの配信では、肌理の細かさはありますが、若干スタティックな印象でした。

以上